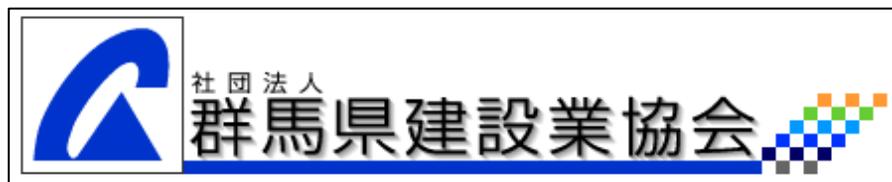


東日本大震災の影響に関する 震災発生三カ月後アンケート

集 計 結 果

調査時点 平成23年6月11日



〒371-0846 前橋市元総社町2-5-3
TEL 027-252-1666 FAX 027-252-1993

はじめに

東日本大震災が発生してから三ヶ月が経ちました。

三ヶ月経過した今でも、死者数が15,405人、行方不明者が8千人を超えており、大災害による被害の凄まじさと深刻さをものがたっています。福島第一原発事故については、東電から工程表こそ示されましたが、未だ予断を許さず放射能汚染の恐怖は広がっています。

被害を受けられた方々に、心からのお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

東日本大震災は、被災地のみならず日本経済を直撃し、被災地の工場から製品供給が止まったことにより世界経済にまでマイナスの影響を及ぼしています。

本県の建設業にも大きなマイナスの影響が心配され、震災直後の緊急アンケートや一カ月後アンケートを実施したところです。アンケートによって明らかになった建設現場で生じている問題については、関係機関により諸対策が取り組まれましたことに感謝いたします。

改めて申し上げるまでもなく、東日本大震災は平時から社会全体で災害に備えることの必要性を認識させました。

特に、社会資本整備の一翼を担う我々建設業者は、安全・安心な県土整備に取り組む責務を痛感しているところです。

そこで、東日本大震災三ヶ月後の現在、前二回の設問に新たに災害に強い県土づくりに向けた意見などを設問に加え、アンケートを実施しました。

本報告書は、このアンケート結果を取り急ぎまとめたものですが関係機関でのご活用を願うとともに、会員各位の意見については今後の協会活動に活かしていく考えです。

平成 23 年 7 月

社団法人群馬県建設業協会
会長 青柳 剛

(ご参考)

前二回のアンケート結果、また、東日本大震災に関する当協会の対応は、当協会ホームページに掲載しております。

<http://www.gun-ken.or.jp>

当協会ホームページの上段「広報活動」より閲覧できます。

東日本大震災の影響に関する 大震災三カ月後アンケート集計結果

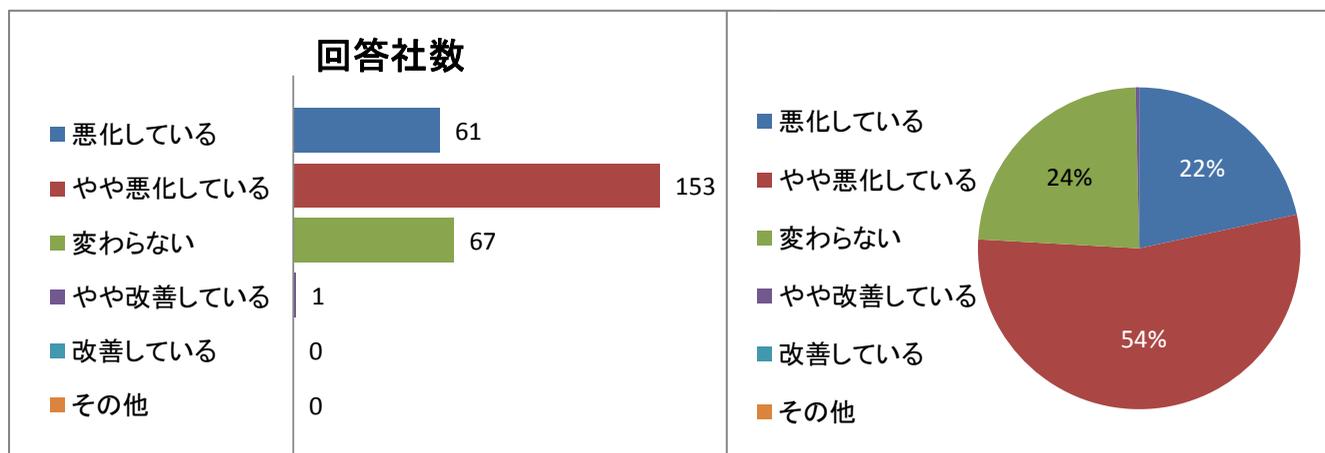
平成23年6月

調査対象 社団法人群馬県建設業協会 会員(支部・準会員等含) 342社
 内 有効回答 282社
 (回答率 81%)

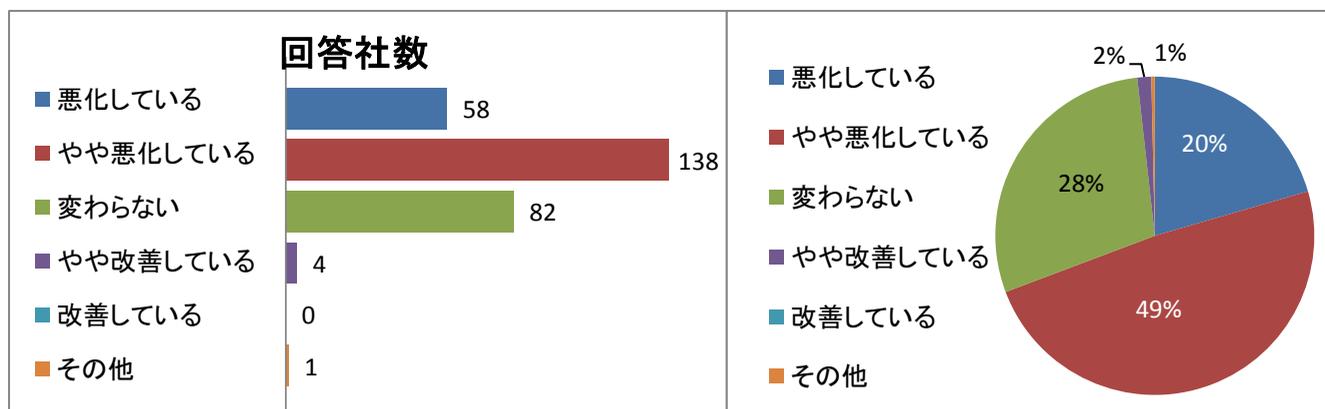
調査時点 平成23年6月11日 14:46 (東日本大震災3カ月後)

3月11日(金)に発生した東日本大震災(大規模地震、大津波及び福島第一原発の事故)発生三ヶ月後の影響について伺います。

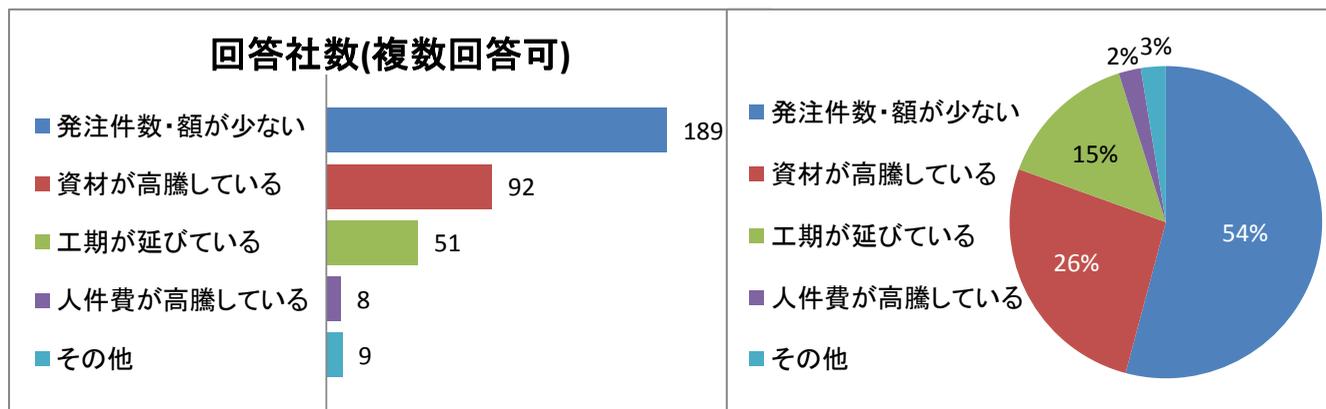
問1 例年のこの時期に比べて、経営状況にどんな影響が出ていますか？



参考：震災一カ月後のアンケート結果 (調査時点：4月11日)
 例年のこの時期に比べて、経営にどんな影響が出ていますか？



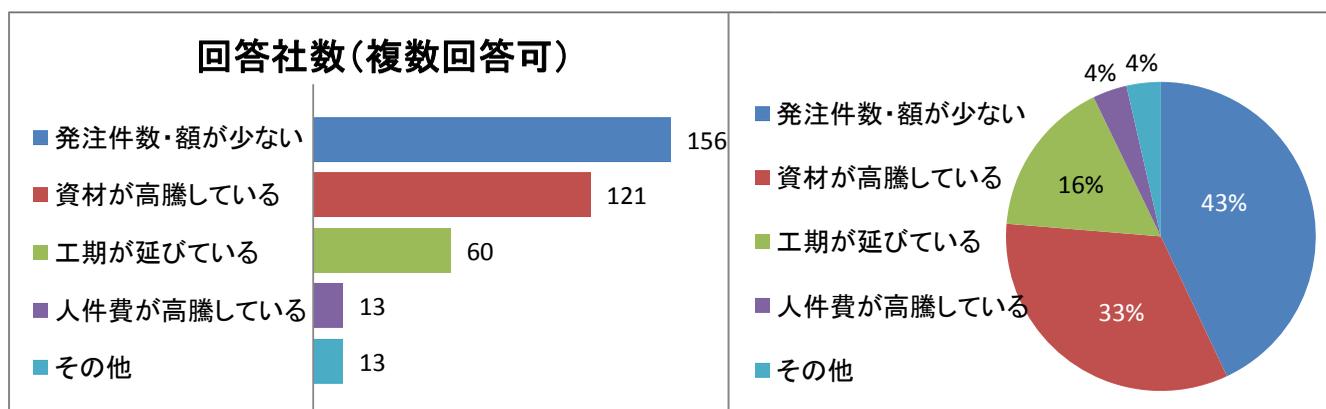
問1-2 「悪化している」「やや悪化している」と回答した方に伺います。
「悪化している」「やや悪化している」理由は何ですか？



その他

- ・ 工事に手がつかない。
- ・ 最終利益率の低下。
- ・ 資材、部材が不足している。
- ・ 震災対応で、担当者（発注者）が不在で工期が延伸。
- ・ 耐震性能見直し（設計変更）制振装置を設ける。
- ・ 資材の入荷不足・遅れ。
- ・ 資材の入荷の遅れ。
- ・ 人材の減少。

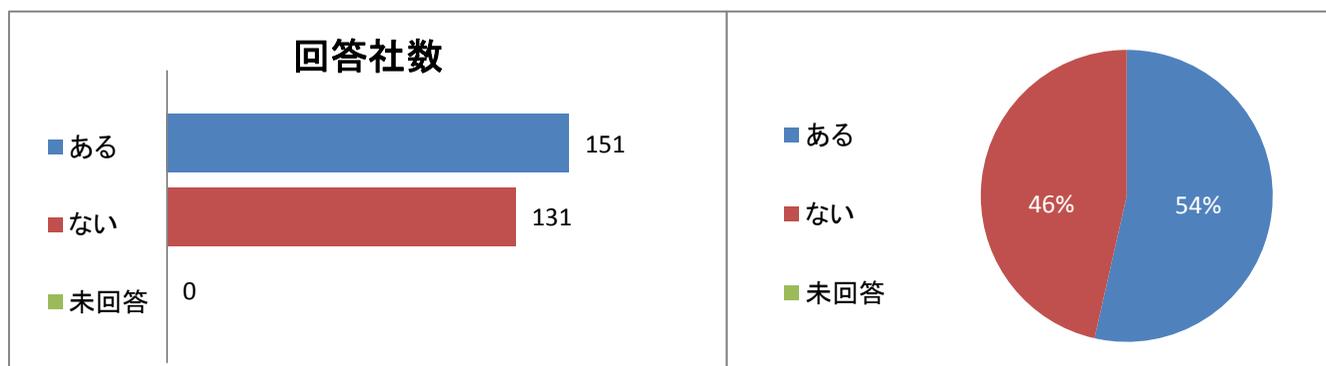
参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
「悪化している」「やや悪化している」理由は何ですか？



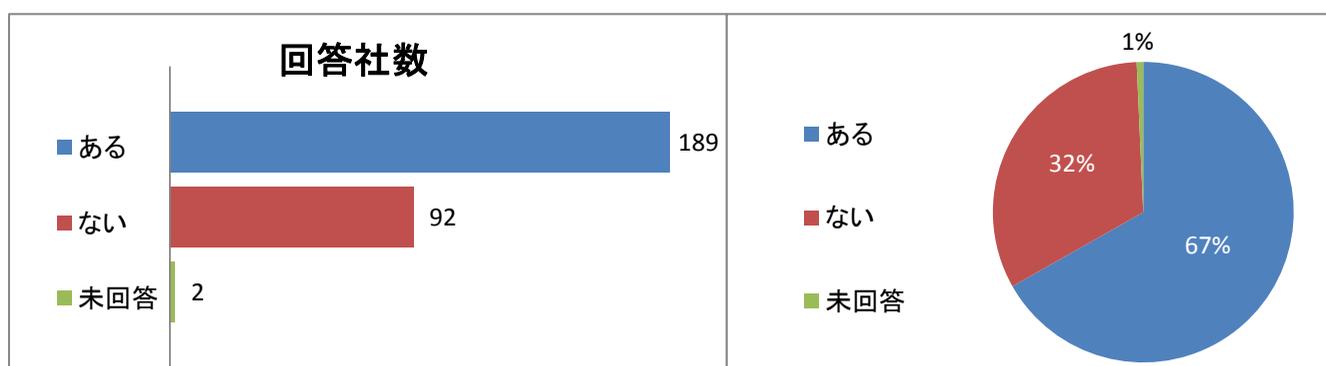
その他

- ・ 一部資材の入荷が遅延している。
- ・ 受注工事が無い。
- ・ 予定工期の延期。
- ・ 材料が手に入らず、工事の一時中止。
- ・ 燃料の高騰。

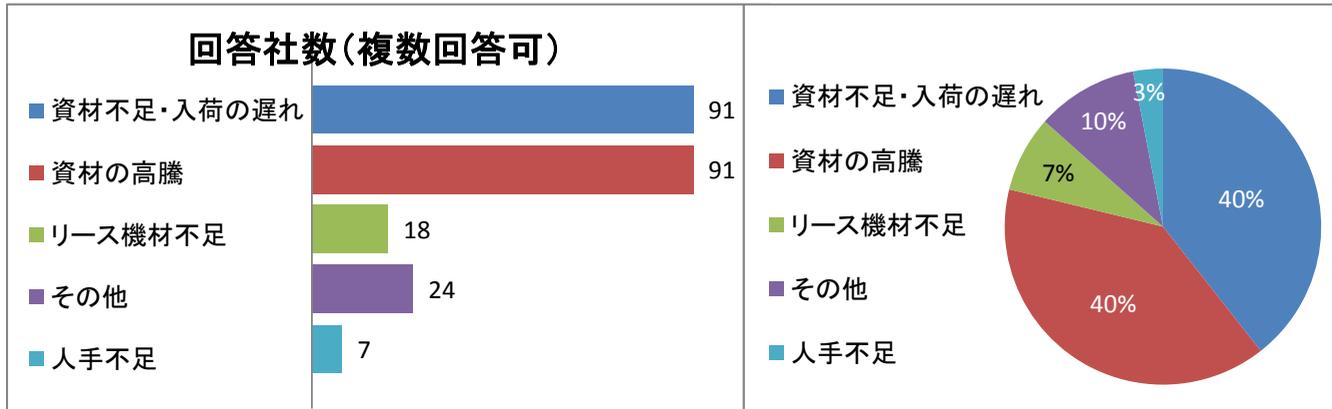
問2 震災三カ月後の現在、現場で困っている事がありますか？



参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
震災一カ月後の現在、現場で困っている事がありますか？



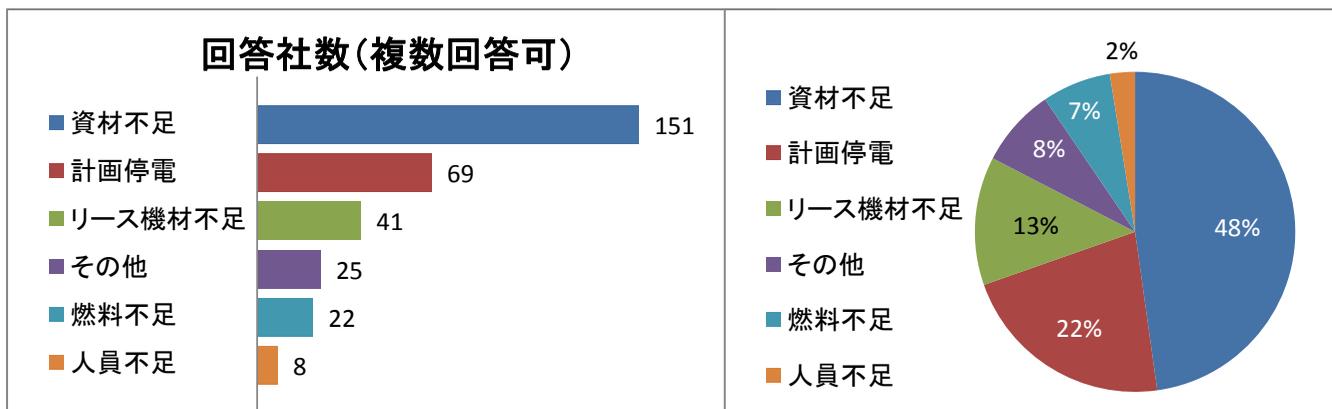
問2-2 困っている事が「ある」と回答した方に伺います。



その他

- ・ コンパネの不足
- ・ 残土の搬入先が減少。
- ・ 受注はしたが、工事が手につかない。
- ・ 世の中のムード、政治の低迷。
- ・ 建設資材の入荷が遅れによる工期の遅れ。
- ・ 東電、NTTの電柱の移設の大幅な遅れ（数ヵ月以上）
- ・ 震災により資材が高騰しているにも関わらず、単価の見直しが無い。
- ・ 役人の震災派遣による人手不足で、仕事が回らない。
- ・ 現場がなくて困っている。
- ・ 仕事の少ないこと。
- ・ 修理の部品がない
- ・ 放射線物質の取扱い。
- ・ 役所の事務処理の遅れ。

参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
何に困っていますか？

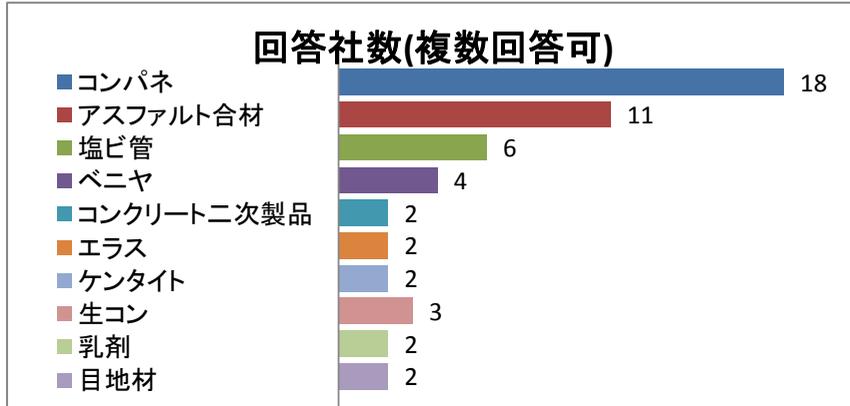


その他

- ・ 仮設電気の受電日の予定が立たない。
- ・ 電柱移設が未定の為、工事着手出来ない。
- ・ 今後の材料の入荷予定（状況）が分からない。
- ・ 仕事がない。（発注がない）
- ・ 日立製のエレベーターの納期が出ない。
- ・ 震災で工事が少なく、何に困っているか分からない事に困っている。
- ・ 建設機材の納期の遅れ。
- ・ 工事の中止。
- ・ 材料価格の高騰。
- ・ 東電が受け付けず、仮設電源が引けない。

問2-3 「資材不足・入荷の遅れ」を回答した方に伺います。
 具体的に何が不足、又は何の入荷が遅れているのか？お答えください。

土木工事関連（上位10位） 総回答数 97



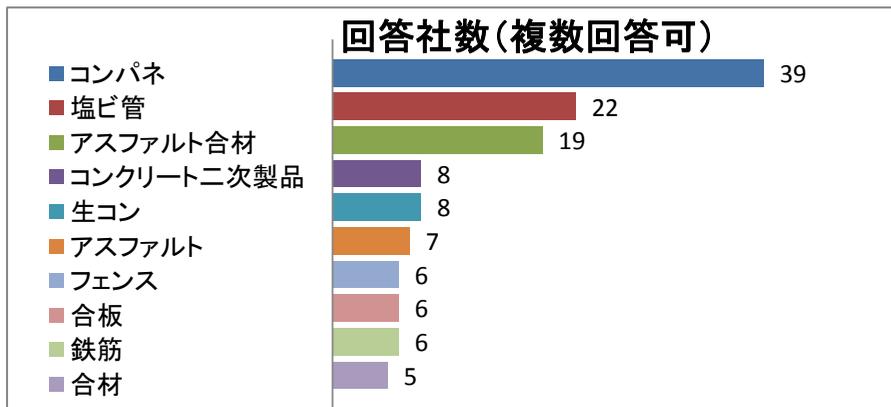
その他（11位以下）

- ・ 型枠
- ・ 鉄鋼製品
- ・ GBX型U字側溝
- ・ H鋼材
- ・ U字溝
- ・ アスファルト
- ・ インターロッキング
- ・ かが枠
- ・ ガソリン
- ・ グレーチング
- ・ コンクリート製品
- ・ セメント
- ・ ダクタイト管
- ・ フェンス基礎ブロック
- ・ ブルーシート
- ・ ブロック
- ・ 仮設ガードレール
- ・ 管
- ・ 鋼材
- ・ 鋼矢板
- ・ 合板
- ・ 芝
- ・ 水道資材
- ・ 大型土のう
- ・ 落石防止柵

※同一製品で呼称が異なる場合があるが、会員の回答通りに記載

参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
 何が不足していますか？

土木工事関連（上位10位） 総回答数 185

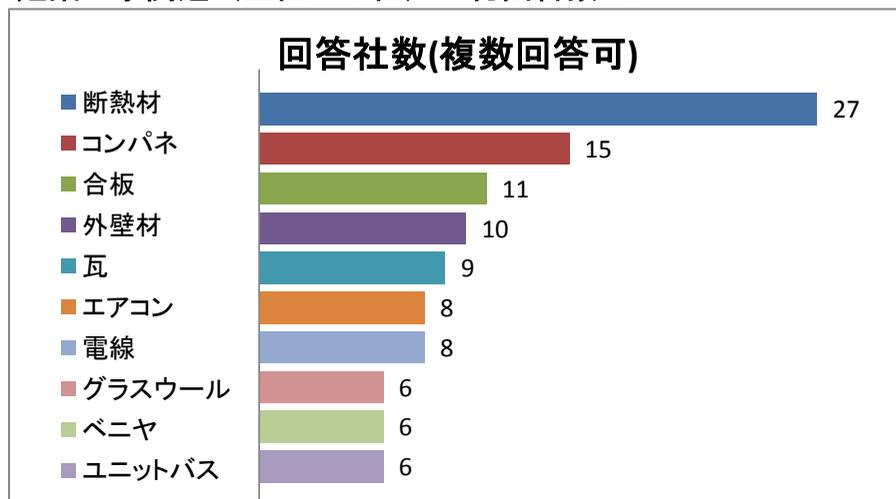


その他（11位以下）

- ・ ネットフェンス
- ・ 軽油
- ・ 鋼材
- ・ 目地材
- ・ ガソリン
- ・ ベニヤ
- ・ ブルーシート
- ・ ポストコーン
- ・ リース機械
- ・ 大型土のう
- ・ ガードレール
- ・ グレーチング
- ・ コンクリート
- ・ ダクタイト管
- ・ ポリエチレン管
- ・ L型水路
- ・ ライン材料
- ・ 管材
- ・ 全て
- ・ 大型かが枠
- ・ 燃料
- ・ 歩道ブロック
- ・ 木材
- ・ 硬質塩ビ管
- ・ 異形鉄筋

※同一製品で呼称が異なる場合があるが、会員の回答通りに記載

建築工事関連（上位10位） 総回答数 206

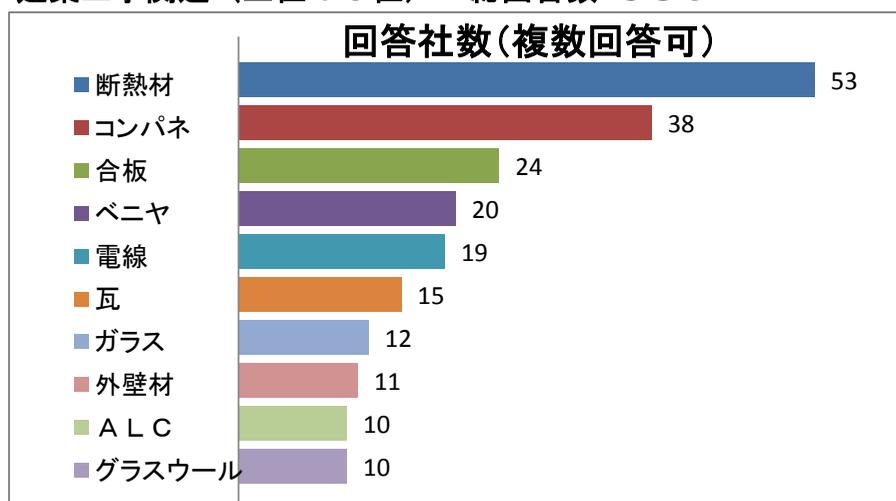


その他（11位以下）

- ・エレベーター
- ・屋根
- ・ALC
- ・構造用合板
- ・ガス給湯器
- ・レンジフード
- ・半導体関連
- ・空調機
- ・便器
- ・外装材
- ・IHヒーター
- ・ガラス
- ・塩ビ製品
- ・陶器類
- ・サイディング
- ・システムキッチン
- ・住設機器
- ・LED照明
- ・フローリング
- ・業務用エアコン
- ・吊戸棚
- ・衛生設備
- ・瓦職人
- ・水廻機器
- ・アルミサッシ
- ・システムバス
- ・遮熱フィルム
- ・洗面化粧台
- ・設備機器
- ・電気温水器
- ・エコキュート
- ・ウォシュレット
- ・ルーフィング
- ・太陽光パネル
- ・昇降機

参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
何が不足していますか？

建築工事関連（上位10位） 総回答数 389

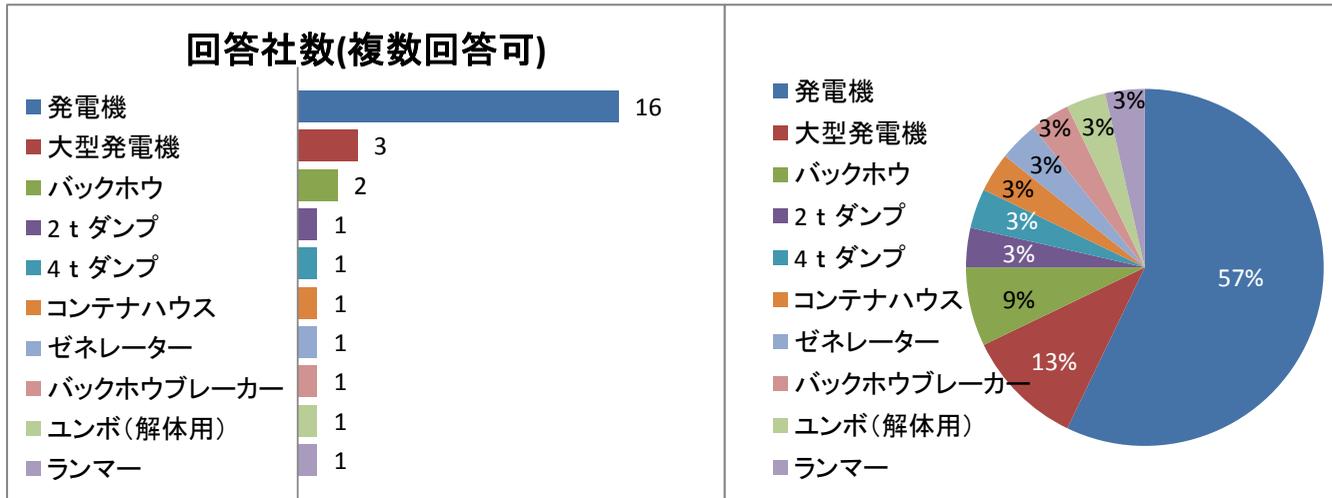


その他（11位以下）

- ・衛生器具
- ・ユニットバス
- ・流し台
- ・エレベーター関連
- ・給湯器
- ・住宅設備機器
- ・塩ビ管
- ・屋根材
- ・キッチン
- ・金物設備器具
- ・木材
- ・エコキュート
- ・鉄筋
- ・洗面化粧台
- ・ルーフィング
- ・サッシ
- ・サイディング
- ・設備機器
- ・鉄骨
- ・材木
- ・構造用合板
- ・システムキッチン
- ・エアコン
- ・便器
- ・生コン

問2-4 「リース機材不足」を回答した方に伺います。
 どのような機材が不足しているか、機材名をお答えください。

リース機材不足（上位10位） 総回答数 34

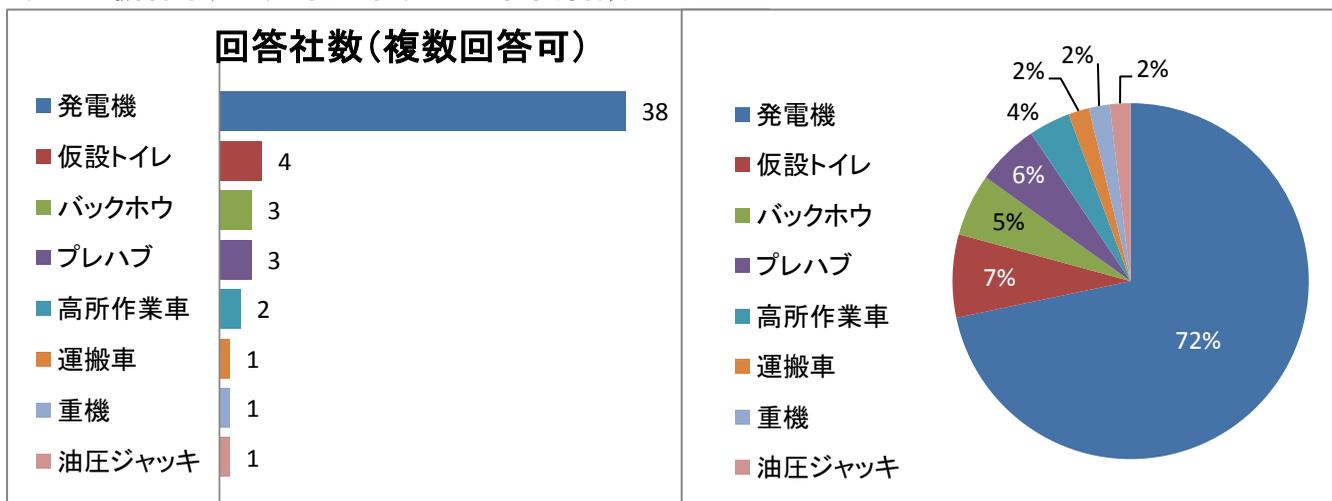


その他（11位以下）

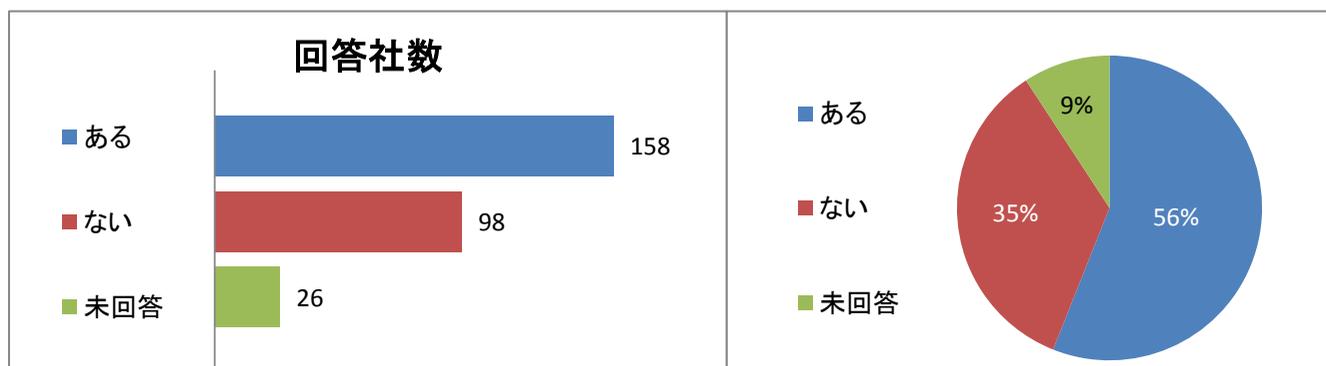
- ・ ローラー
- ・ 仮設ガードレール
- ・ 掘削機
- ・ 高所作業車
- ・ 木材破砕機
- ・ 重機

参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
 どんな機材が不足しているのか、機材名を記載して下さい。

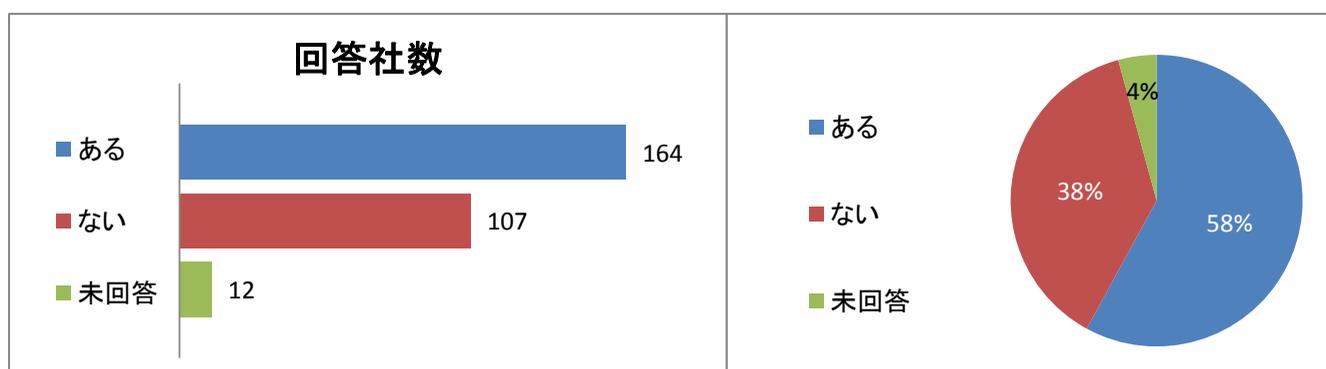
リース機材不足（上位8位） 総回答数 53



問3 震災後、価格が高騰した資材がありますか？

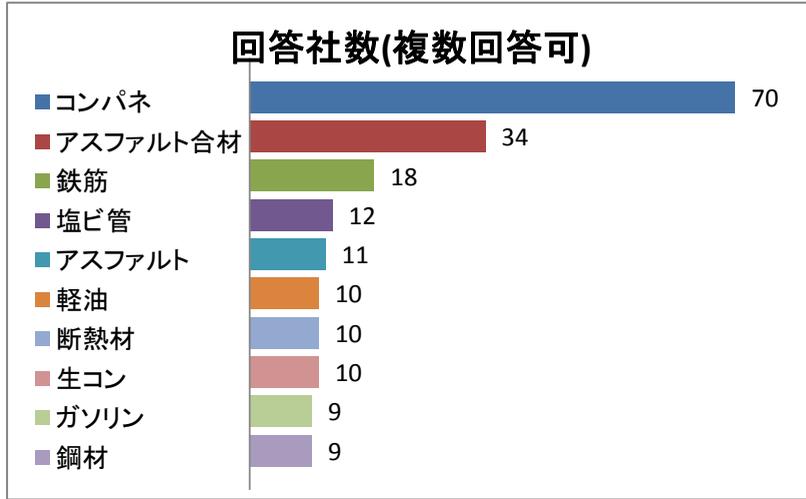


参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
震災後、価格が高騰した資材がありますか？



問3-2 「ある」と回答した方に伺います。
 どんな資材が、どのくらい高騰しましたか？

高騰した資材（上位10位） 総回答数 315



高騰した資材価格の上昇率

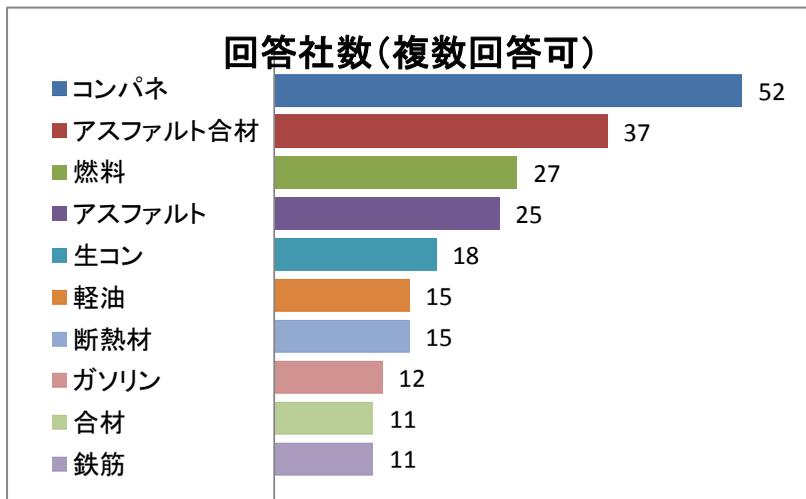
・コンパネ	= 105~150%
・アスファルト合材	= 105~130%
・鉄筋	= 105~125%
・塩ビ管	= 105~130%
・アスファルト	= 105~120%
・軽油	= 107~130%
・断熱材	= 110~200%
・生コン	= 105~120%
・ガソリン	= 107~120%
・鋼材	= 105~120%

その他の意見（11位以下）

- | | | | | |
|-----|--------|---------|---------|--------|
| ・燃料 | ・ベニヤ | ・グラスウール | ・合材 | ・構造用合板 |
| ・電線 | ・乳剤 | ・アスコン | ・合板 | ・目地材 |
| ・H鋼 | ・エアコン | ・ブルーシート | ・ラワンベニヤ | ・木材 |
| ・鉄骨 | ・石膏ボード | ・化粧合板 | ・LGS材 | ・アルミ建材 |

参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
 どんな資材が、どのくらい高騰しましたか？

高騰した資材（上位10位） 総回答数 336



高騰した資材価格の上昇率

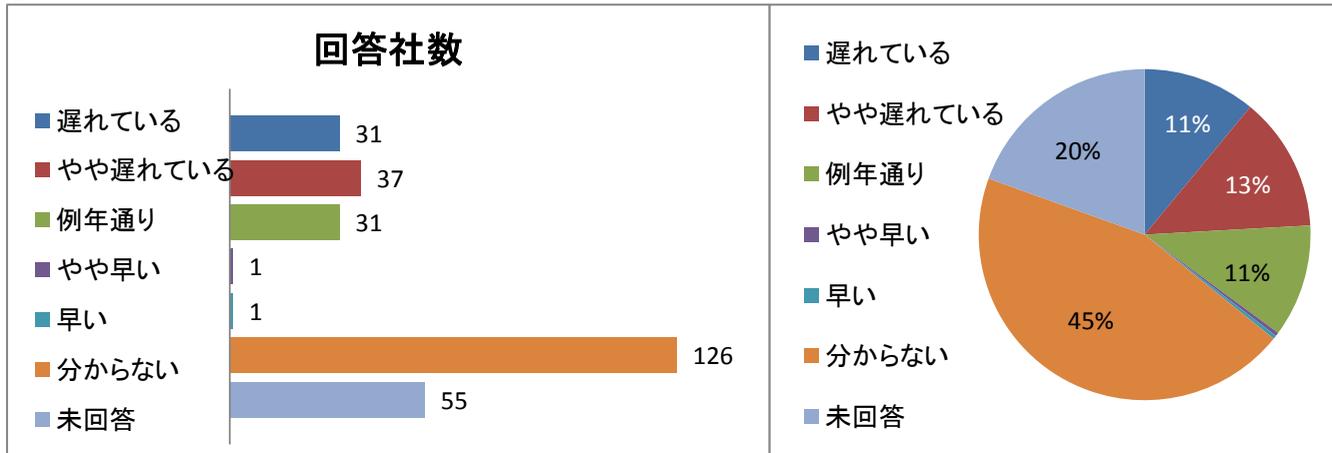
・コンパネ	= 105~200%
・アスファルト合材	= 105~150%
・燃料	= 100~120%
・アスファルト	= 105~130%
・生コン	= 105~110%
・軽油	= 105~120%
・断熱材	= 110~130%
・ガソリン	= 105~120%
・合材	= 110~130%
・鉄筋	= 103~130%

その他の意見（11位以下）

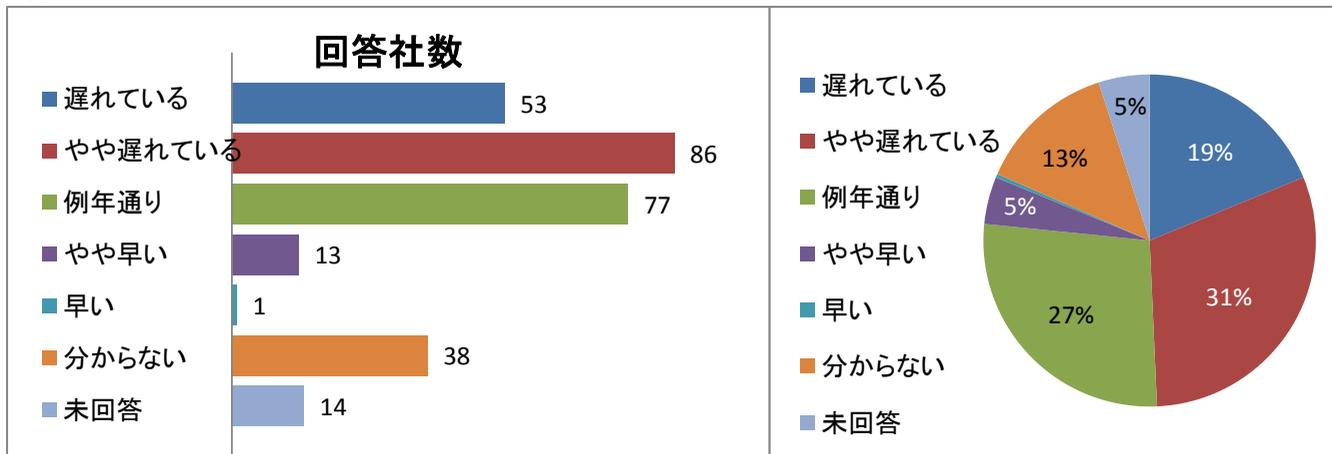
- | | | | | |
|---------|--------|---------|-----------|---------|
| ・塩ビ管 | ・鋼材 | ・合板 | ・電線 | ・金ネジ |
| ・乳剤 | ・ガラス | ・ベニヤ | ・構造用合板 | ・鉄骨 |
| ・管材 | ・材木 | ・骨材 | ・目地材 | ・屋根 |
| ・ブルーシート | ・ラワン合板 | ・ルーフィング | ・アスファルト乳剤 | ・グラスウール |

問4 例年のこの時期に比べ、発注機関の発注業務の進み具合はどうか？
 国、県、貴社の本店所在市町村別にお答えください。

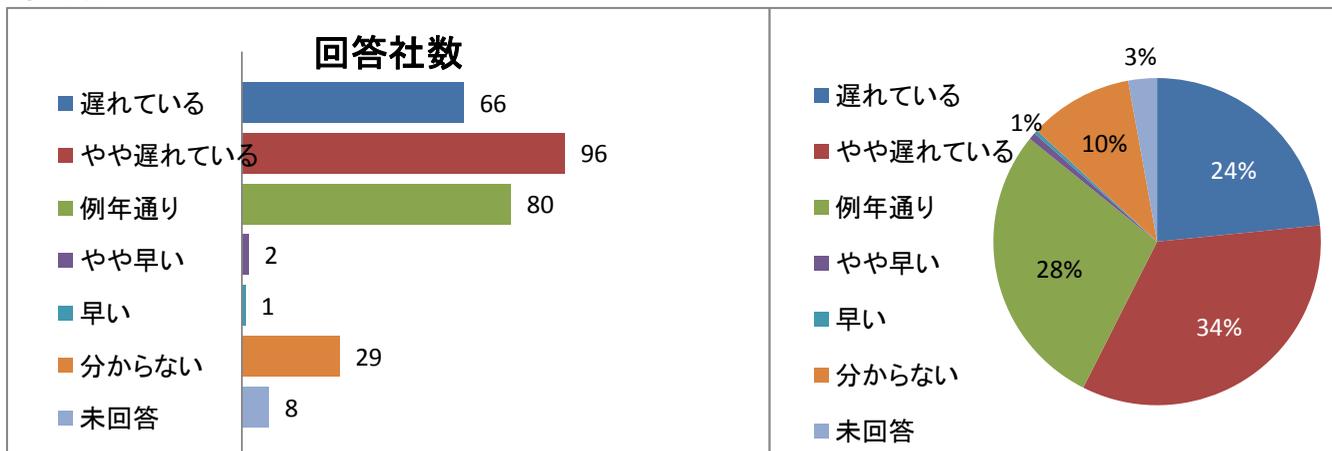
国



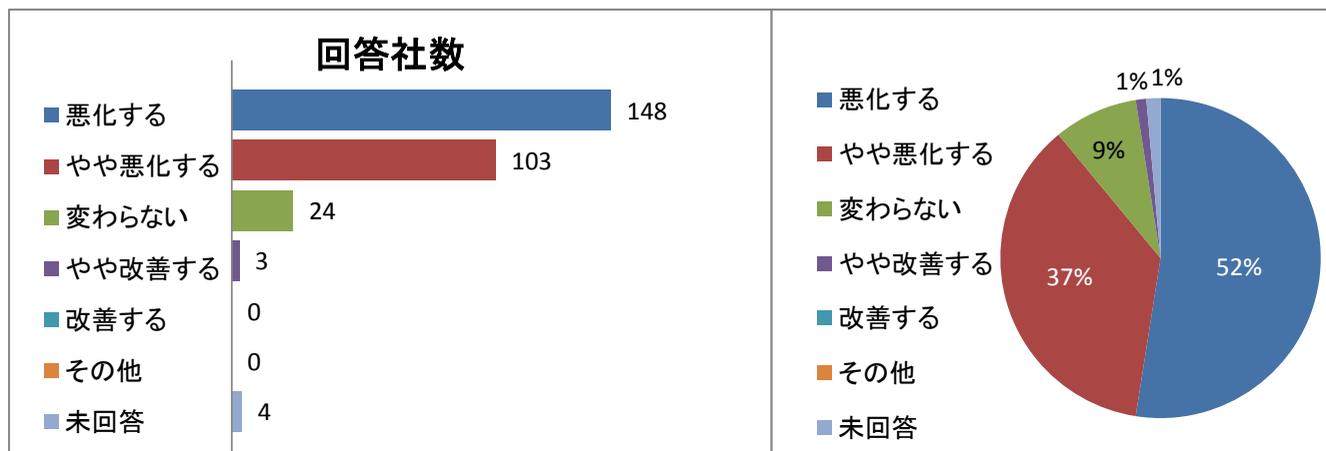
県



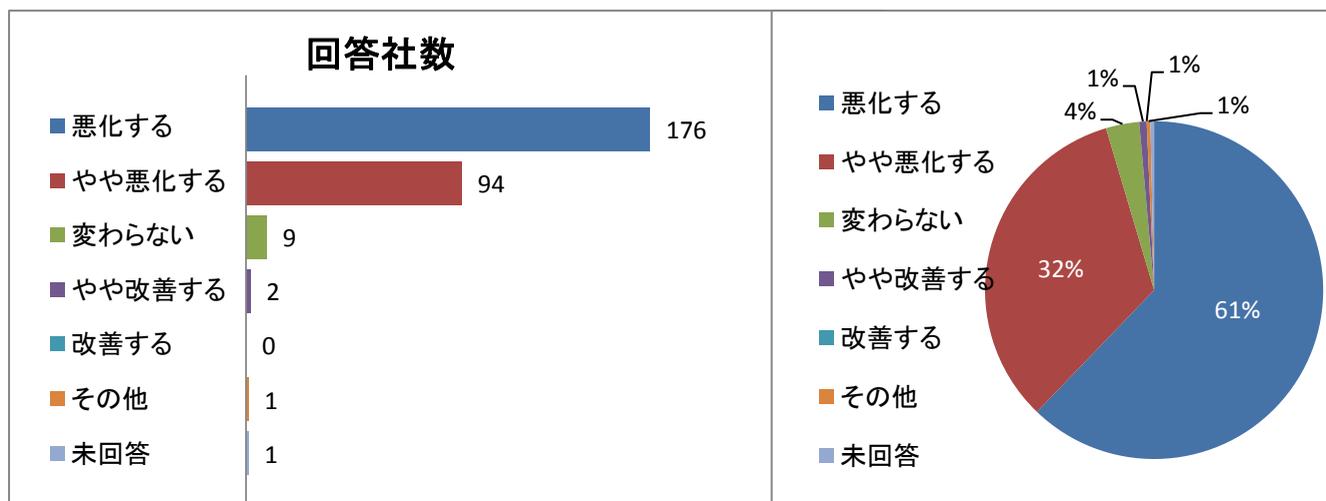
市町村



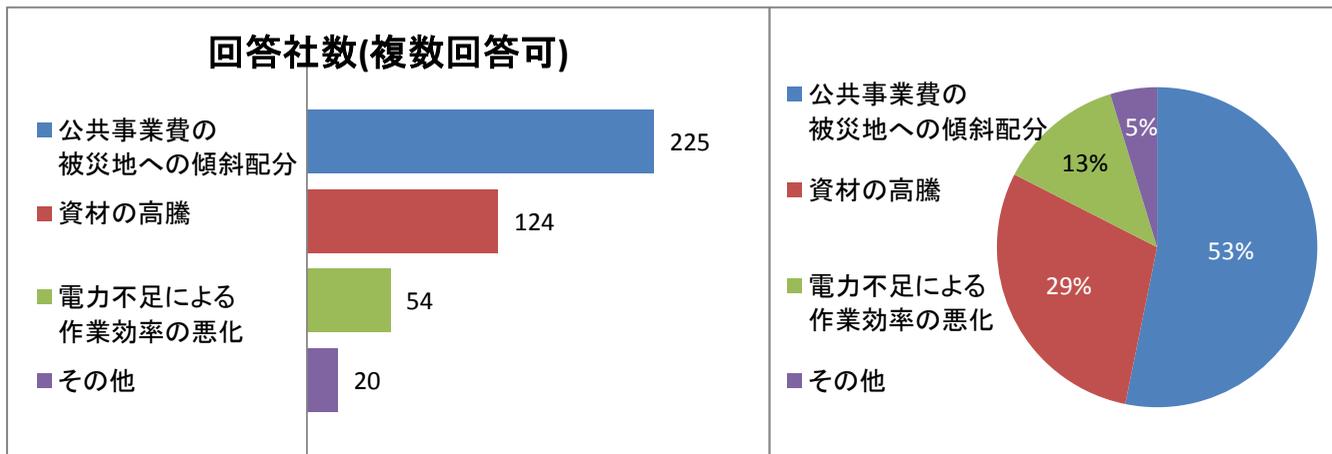
問5 向こう一年間を見通した、経営への影響見込みについて伺います。
 どんな影響が出るでしょうか？



参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
 向こう一年間を見通して、経営への影響見込みについて伺います。
 どんな影響が出ると考えられますか？



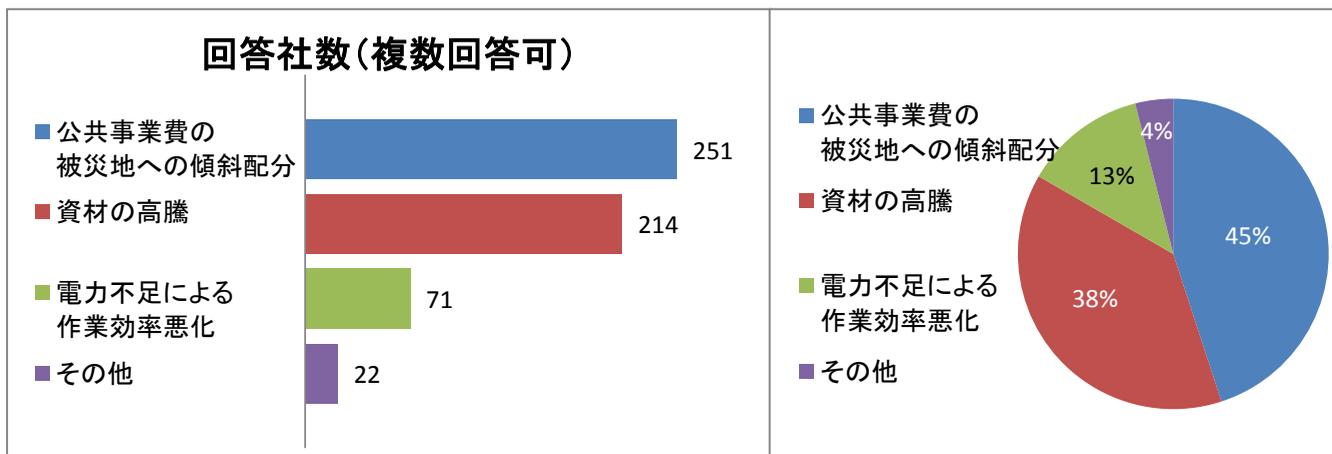
問5-2 「悪化する」「やや悪化する」と回答した方に伺います。
 「悪化する」「やや悪化する」理由は何ですか？



その他

- ・ 景気悪化による民間工事減。
- ・ 東京電力工事発注中止による工事減。
- ・ 公共、民間工事の発注量が少ない。
- ・ 本年度予算の補助事業削減及び近年の公共事業費削減、ここ2年の激減。
- ・ 建設投資全般の減少による競争の激化。
- ・ 原発事故による汚染対策等。
- ・ 東京電力、JR東日本の発注額減少。

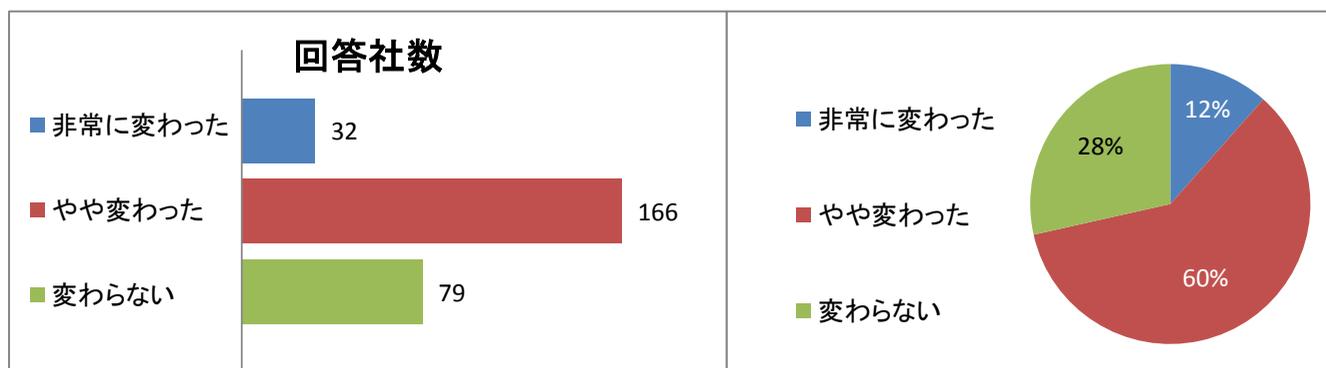
参考：震災一カ月後のアンケート結果（調査時点：4月11日）
 「悪化する」「やや悪化する」と回答した理由は何ですか？



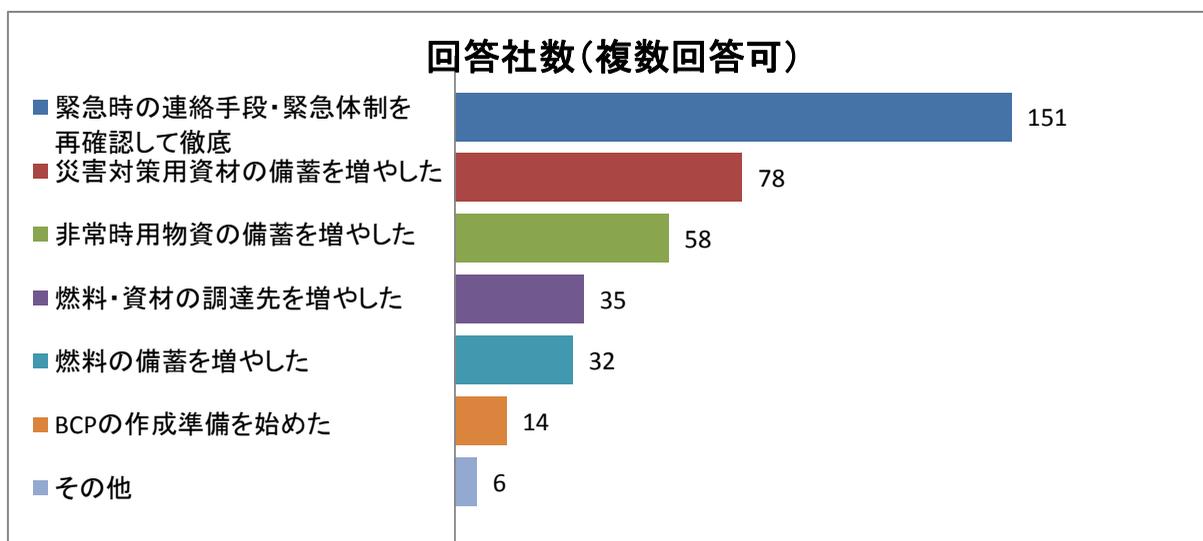
その他

- ・ 公共事業減少。
- ・ 工事の施工が出来ない期間がある。
- ・ 材料費の高騰。
- ・ 施工単価が下落傾向である。
- ・ 資材の入荷遅れによる工期延期。
- ・ 民間建築需要の壊滅的停滞。
- ・ 資材不足。
- ・ 震災による消費の減退。
- ・ 人員不足。
- ・ 設備投資の減少。
- ・ 東電・JR東日本の被災地への傾斜配分。
- ・ 労働力不足・高齢化。

問6 東日本大震災を経験して、貴社の自然災害に対する備えが変わりましたか？



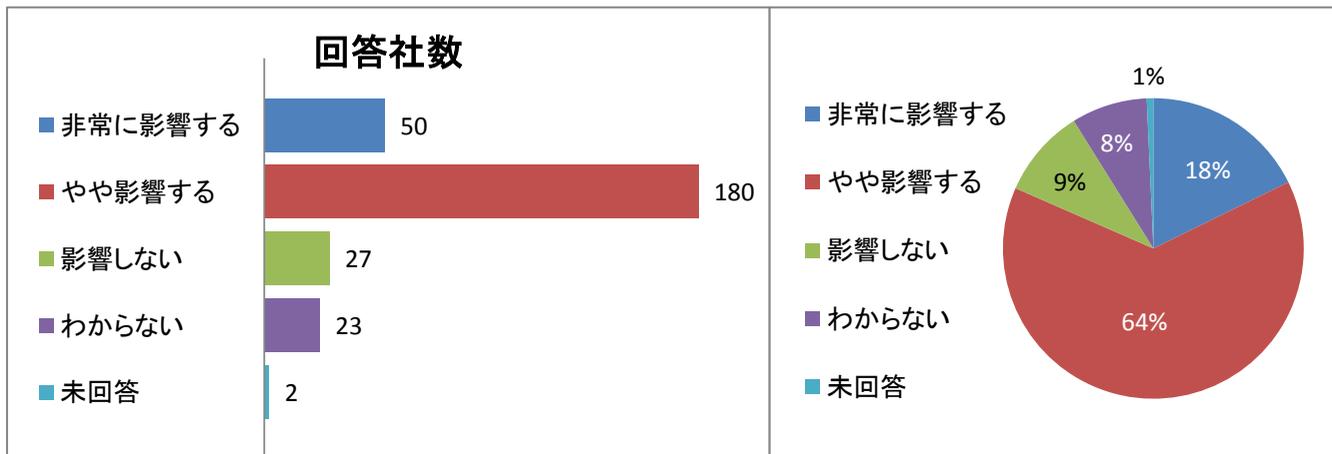
問6-2 「非常に変わった」「やや変わった」と回答した方に伺います。具体的にどんな点が変わりましたか？



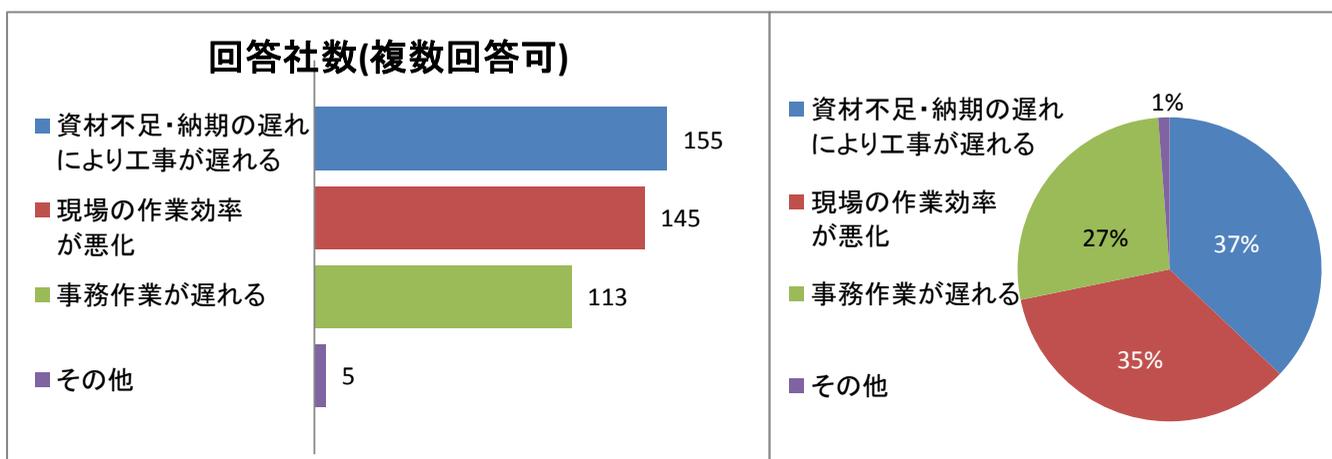
その他

- ・ BCPを取得した。
- ・ 事業継続計画を取得した。
- ・ 警察、消防に対して、訓練やボランティアのサポートや協力を行うようになった。
- ・ 災害時、事務所と現場の連絡方法を準備し始めた。
- ・ 節電に努めている。
- ・ 燃料（ガソリン・軽油）の備蓄設備を備えた。

問7 福島第一原発事故等により、今年の夏は電力不足が懸念されます。
電力が不足した場合、経営への影響が考えられますか？



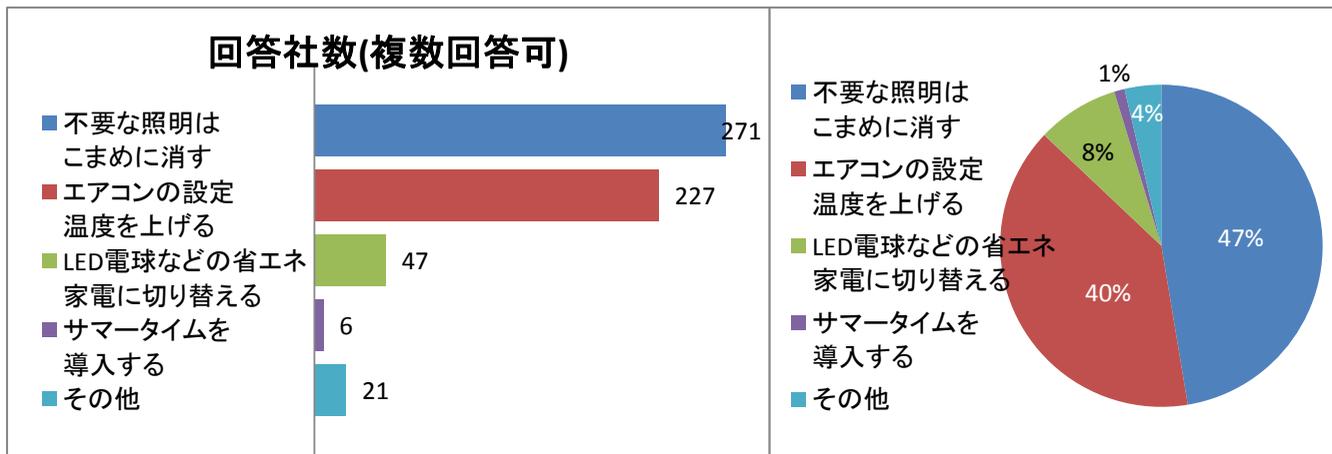
問7-2 「非常に影響する」「やや影響する」と回答した方に伺います。
どんな影響が考えられますか？



その他

- ・ プラントの稼働について。
- ・ 生コン砂利プラントの生産が出来ない。
- ・ 労働意欲の低下。
- ・ 工事現場での仮設を商用電力からゼネレーターに替えなければならず、コストが高くなる。
- ・ 客先におけるマイナス思考。
- ・ 製造業の設備投資鈍化。

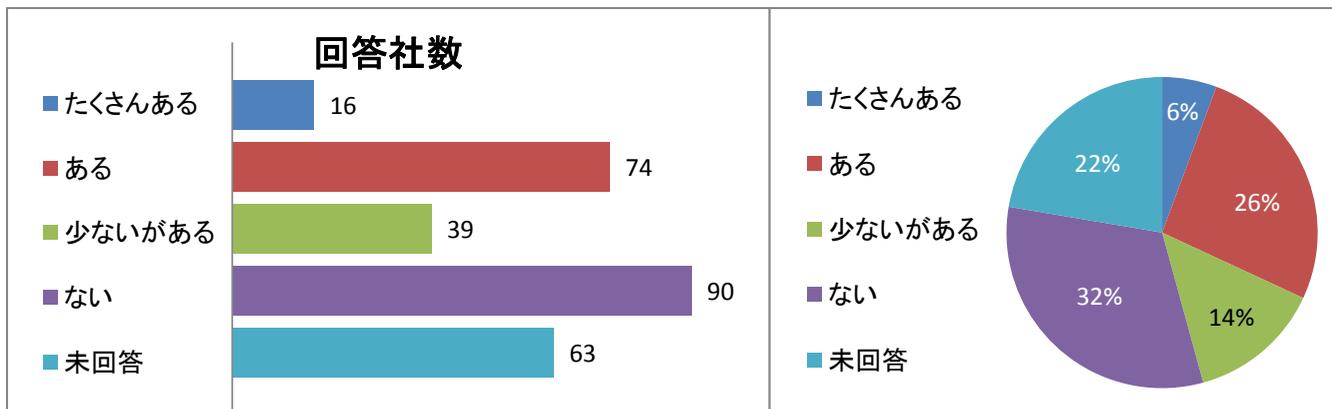
問7-3 電力不足対策で節電が呼び掛けられていますが、どんな節電対策に
取り組みますか？



その他

- ・エレベーターの電源を切る。
- ・グリーンカーテンの設置
- ・照明の間引き。
- ・残業時間を短縮し、電気消費を削減している。
- ・未使用のコンセントを、こまめに抜く。
- ・仕事がないので取り組めない。
- ・よしず、すだれ等により、事務所内の温度の上昇を抑える。
- ・昼間は照明はつけない。エアコン等を使わない。
- ・クールビズを取入れる。
- ・トイレの便座の電源オフ。
- ・休日を輪番にする。
- ・太陽光発電設備の設置 (9.9kw)
- ・網戸を設置、エアコンをなるべく使わない。
- ・待機電力の削減。

問8 東日本大震災の強い地震動を経験して、早急に耐震補強すべきと考えられる
公の建物や構造物が、貴社の本社が所属する土木事務所管内にありますか？
建設技術者の立場で、県民の安全・安心を守る視点でお答えください。



問9 建設業の立場で、災害に強い県土づくりに向けた意見をお書きください。(1/5)

- ・「コンクリートから人へ」と公共工事は変革し、災害が発生すれば必要と言われます。自衛隊や消防等のようにマスコミには取り上げられませんが、緊急時には地元建設業社が自分の家族を置いて行動を起こしています。地域を守る使命感は持っています。もっと、そのような業者を育てる意識を持っていていれば、いざと言う場合に更に力になると思います。
- ・「効率」と言う物差しで決定される事業が多い。
- ・「災害は忘れたころにやってくる」ではないが、建設業協会主導で、防災に対するマニュアル化の徹底を図る。又は災害を想定しての研修会等で繰り返し指導していく。
- ・LCCを考慮して予防保全的処置を施すべきだ。
- ・ゲリラ豪雨と呼ばれる局所的な集中豪雨への対応（河川計画の見直し、貯水池の設置）
- ・コンクリート構造物の強度を改めて認識。特に山間地域においては水災害防御としてのコンクリート構造物、特に砂防堰堤、地すべりボーリング等の工事を数多く予算化実現していただきたい。まだ、現状では十分ではなく、人命に関わる危険箇所が多いため、早急な対応が必要かと思う。
- ・どのような災害が起きるのかわからないため、その災害に対応出来るような業者の体力が必要だと思えます。
- ・バイパス工事の早期完成。
- ・まず、道路整備が基本。
- ・迂回ルート作り（関越道や主要道路が通行止めの場合）
- ・河川の氾濫防止のための整備。
- ・過大設計と思われる公共施設についても、より強固なものに投資すべきと思います。
- ・各地区への防災道路の確立をはかるべき。
- ・幹線が途切れても、迂回出来るような道路設計も必要だと思う。
- ・幹線道路・橋等の早期点検をお願いします。
- ・幹線道路を災害から守る体制作りを前面に出し、災害に強い道作りを進める事が重要である。
- ・環境の変化、又は現在の土木技術は過去（40～50年昔）の自然対応と今日では、温暖化等でだいぶ異なると思われれます。又、道路、橋梁と言った重要構造物の設計条件も異なります。早急な対応が必要かと思われれます。
- ・既設の公共物のメンテナンス・耐震補強は現状のライフラインを維持して行く上では欠かすことの出来ない事業です。予算を確保し、削減する事のないようお願いしたい。
- ・急傾斜地や落石防護柵、子供の通学路になっている橋等、かなり古く老朽化している所が多々ある。特に利根郡地方部では、その一部が倒壊すると村や町が孤立してしまう様な場所もあり、その場合、病院にすら行けないなども考えられる。そのような事から、新たなバイパスや補強工事等は地方部こそ重要視していく事が災害時のライフラインを保つためにも必要と思われる。
- ・協会内の災害時連絡を徹底する。
- ・強い地震、ゲリラ豪雨など、これまでの想定を超えた影響を発生する事態が多くなっています。落石や土砂崩れの危険度が高くなるでしょうし、これまで実施した対策工の老朽化も見られます。引き続き公共投資に力を注いでいただきたいです。
- ・橋・道路・法面等にも、調べればもっと補強・修繕するところがあると思う。
- ・橋梁の補強、河川の護岸工事、砂防ダムの建設。
- ・業界に資金や人材の余裕があれば、どんな苦難にも立ち向かえる。
- ・緊急災害時連絡組織の確立。
- ・緊急時の連絡手段・体制の見直し。
- ・空調設備のいない2～3階以下、引き違い窓の建築物を造る。

建設業の立場で、災害に強い県土づくりに向けた意見をお書きください。(2/5)

- ・群馬は他県に比べて災害が少ない土地となっているが、これに安心することなく、橋や道路等の整備・補強に今まで以上に積極的に取り組むべきである。
- ・群馬県には、海は無いので津波の心配はないが、地震や台風による河川の氾濫、土砂災害が心配される。山間部の河川設備、急傾斜地の崩落危険個所の対策等が必要だと思う。
- ・群馬県の前橋は、激震（6強以上）が幸いにもないと思われる。6強に備えて事業の継続計画をしておく事が県土づくりに役立つと思います。
- ・建設業の存在意義の間われる事ですが、災害防止対策への予算をつけてもらうこと。地域ごとに建設業協会から意見を集めて、積極的な予算をつけ発注していただきたい。
- ・建築物（建物・道路・橋梁）の耐震化。
- ・建築物に関しては、耐震補強等は今後とも必要でしょう。しかし、道路、上下水道等のライフラインに関しては、現状では如何なものかと思えます。耐震性も重要でしょうが、壊れない物は存在しません。よって、メンテナンスや補修が容易な構造資材の運搬・入手・施工の容易な物を第一に考えるべきだと思います。例えば、上水道です。各市町村、現行で完全に管種が統一されていないと思います。完全統一されれば、各業者も在庫を多少なりとも抱えやすくなると思います。
- ・県内には、崩壊対策、地すべり対策、急傾斜地対策等を実施しなければならない箇所が七千箇所以上ある。又、橋梁等の耐用年数に達したものも増えているため、早急な対応が望まれる。
- ・浸水被害や土石流、がけ崩れの減少を目指し、河川、砂防施設等の整備を推進し、緊急輸送道路の整備、橋梁の耐震補強や道路防災対策など災害の未然防止。
- ・吾妻町町内でも、震災時は大きく揺れたがほぼ構造物は現況維持出来ていると思われます。何事においても、基礎事業の充実を図り、地耐力試験等をもっと取入れ頑丈な事業を作り上げる事が必要と思われる。
- ・公共建物の耐震補強を早急にすべきだと思う。
- ・公共事業悪玉論が定着し、工事が減少した上に厳しい入札制度が低入札を生んだ結果、業者は厳しい経営を強いられ、設備は縮小し十分に人も雇えなくなり技術の伝承すら危ういほど弱体化している。一般人の知らないところで、災害時の緊急整備や冬場の除雪、融雪剤の散布などのボランティアに等しい活動には、この先到底対応して行けそうもない。東日本大震災のような大災害が発生した時に、要請があっても人はいない、機械もない、技術もない状態で復興していけるのだろうか？地域社会の安全を建設業が担っている事を、地域社会にとって建設業が絶対に必要であるとアピールを！災害に必要な公共事業はあるはず。それを業者には適正な価格で受注させ、社会のニーズに応えられるように体力をつけさせる。それでこそ、災害に強い県土づくりに貢献できると考えます。
- ・構造物の耐震補強も重要であるが、当（沼田）事務所管内は山間部なので、砂防・地すべりの事業を集中的に行い、急傾斜地の安全を図るべきである。
- ・今回の大震災で被害にあった建物、構造物等に対する強化、また、今後大震災が起きても最低ライフラインが確保できる整備をしてもらいたいと思います。
- ・今後、公共工事の設計時において、地域の防災対策を組み入れて計画を行うことを推奨します。
- ・最近、この時期に多いゲリラ豪雨により、道路の冠水、河川の氾濫が見られる。排水路、河川の整備が必要なのではないか？東日本大震災でおきた上下水道の寸断、これらアクアラインの耐震化も必要である。
- ・災害に強い県土づくりに即予算の計上、施工、すみやかに実行が第一。
- ・災害の起こり易いような場所に、未然に防止する先行工事の必要性を感じます。
- ・災害は、いつ発生するか分からないので、事前の備えやネットワーク作りが重要だと思われます。

建設業の立場で、災害に強い県土づくりに向けた意見をお書きください。(3/5)

- ・災害で被災されて、食糧や衣料品が届かない事やライフラインの復旧がおくれるなど、連日ニュースで報道されていますが、耐震用の水道管普及や資材を運搬する幹線道路の開通など、災害に備えた施設はまだまだ必要だと思えます。復旧においても、今まで以上に官民一体となった緊急時対応マニュアル的なものを、作っていただきたい。
- ・災害は、いつ発生するか分かりませんから、景気の動向に関係なく、毎年着実に一步一步整備を進める不断の努力が必要であると思えます。
- ・災害を防止する為の社会資本の投資は、経済の状況に関わらず計画的に継続すべきです。
- ・災害時だけでなく、普段から建設業の立場を分かって欲しい。
- ・災害時に、道路脇の建物や電柱等が倒壊したとしても、緊急車両等が通行できる道路整備。
- ・災害時の市民の緊急避難施設の拡充をすべきだ。また、指定された施設の設備等の保守点検を早急に実施して欲しい。
- ・災害時の避難場所になる公共施設や重要土木構造物の耐震化率を100%に早期に近づける。
- ・作業に従事する者だけでなく、一般県民も「しっかり郷土を守る」認識を持って、地域を見守る心掛けが必要である。
- ・山間地の土石流予防対策と、災害時の交通手段とライフラインの確保の対策。
- ・山間部の道路法面は、地震の震度予測を上げた法面の崩壊防止が必要です。(具体的には、切盛土法面を地震を考慮した勾配とする。法面の早期樹林化等で落石、表面崩落防止等の対策です。)
- ・山地の河川では、土石流対策として砂防ダム、土留擁壁など。
- ・市より配付された洪水マップの改定及び詳細、内容の再検討をお願いします。他の災害想定(地震揺れ、噴火、台風、活断層)マップ及び資料。
- ・施工計画段階において、その場所に合う構造で安全に余裕を持った構造設計をお願い致します。
- ・自分たちが工事している周りに、危険な箇所がないか常にチェックし、その結果を発注機関に提示する。
- ・実際に緊急対策を行う中小の建設業者が生き残るための支援対策。
- ・実情にあった、災害対策マニュアルの整備。
- ・社会資本の整備は、継続的に続けていくべきであると思うので、できる限り予算を付けていただいて、古い物を直しながら、必要なものは出来るだけスピーディーに新設していただきたい。
- ・車社会、全国で所有台数上位の本県において、道路整備率が全国平均以下では、災害時の緊急避難経路の確保が出来ない。特に吾妻、渋川の北毛地区については本当の遅れているので、道路整備(既設の拡幅、バイパスの新設、交差点改良、特に通学路については歩道の整備)を要する。
- ・主要幹線については、バイパスをつくる。
- ・主要幹線道路の幅を広げて、災害時には緊急車両が通行できる道路網を整備する。
- ・主要道路の補強。調査し、ライフラインを堅固にする。
- ・集中豪雨に対する治水対策(河川改修)
- ・出水箇所を選定して、時間雨量、1日雨量を確認し基準を定め自主パトロールを実施し、早期出動体制をつくりだす。
- ・除雪会議と同じように「災害対策会議」のようなものを定期的に(年1~2回)開催し、各地域の災害対応能力の確認や危険地域の把握、情報交換、情報収集をする。
- ・震災の状況で見ても、コンクリートの建物は残っていた。「コンクリートから人へ」じゃなく、「コンクリートが人を守る」のではないのでしょうか?
- ・震災時における電柱倒壊の備えて、電線の地中化電線共同溝の促進。
- ・人からコンクリートへ。

建設業の立場で、災害に強い県土づくりに向けた意見をお書きください。(4/5)

- ・数十年前に構築された建造物の点検、見直しをして、耐震性に乏しい物は早急に対処すべきでしょう。
- ・戦後60年も過ぎ、道路橋梁等多くの施設が耐用年数を向かえる。今後は、それらの維持補修が必要となる。県民の安全・安心を一番に考えた県土づくりが必要となると思います。
- ・早急に対処すべき箇所はありませんが、道路等改良後数十年経過している区間は、順次修繕する必要があると思います。
- ・早急に耐震補強と言う形では無いですが、擁壁などにヒビなどを見る事があり、少しずつでも補強をしていかなければと思います。
- ・耐震補強は建物、橋関係だけでなく、中小河川の護岸や擁壁なども対象とした方が良いでしょう。
- ・地域にいるお年寄りに台風や地震の時、起こった事例を聞き取り調査（地すべり等）を行い対策する。
- ・地元の会社の育成。
- ・中小河川の氾濫、土砂災害等の対策。
- ・堤防、橋梁等を災害に強い堅固なものに作り替える。
- ・軟弱地盤は地盤改良する。
- ・日頃から災害時における協力体制を整えておく。例えば、どこの企業には重機や車両がどの程度あるのか把握しておき、連絡先も伺っておく。
- ・普段から耐震補強に努め、ライフラインの整備に重点を置くべきである。
- ・複数の災害にも対応できるようにしてもらい。
- ・平行した幹線道路の建設。
- ・防災事業の計画、災害発生時の対応等、意見交換の機会を今後さらに増やして頂くと共に、連絡連携の体制を官民で構築する事を望みます。
- ・防災対策（河川改修等）
- ・本心で地域貢献を考えられる業者が、生き残れる県。
- ・無筋コンクリート構造物（重力式擁壁・コンクリートブロック積擁壁等）の目地部分を、ずれ止め構造にする方法は検討できないでしょうか？
- ・有事の情報収集の強化と連携。
- ・力強い建設業者の育成。
- ・老朽化あるいは損傷した公共重要構造物については、災害が発生してからではなく発見次第、早急な対策・対応が必要だと思います。
- ・老朽化が進んでいる建物は、補強ではなく建て替えを計画した方が良いでしょう。
- ・100年単位で事業を処理されたい。
- ・コンクリートから人への考えを、今回の震災で誤りだった事を認めて、「コンクリートは人を守るもの」とアピールして欲しい。
- ・シュミレーション訓練の実施。
- ・その土地にあった設計をする。
- ・メガソーラー等で停電に影響されない。
- ・液状化対策として、道路・下水道等の改修、又は補強工事が必要と思われる。
- ・河川の整備。
- ・各路線の迂回路の設置。新設。
- ・机上ではなく、実際に訓練を行って問題を見つけて欲しい。
- ・気持ちを一つにし、責任逃れをしない事を求めたい。

建設業の立場で、災害に強い県土づくりに向けた意見をお書きください。(5/5)

- ・ 橋梁の長寿命化に向けた補修。
- ・ 緊急輸送のための道路整備。
- ・ 緊急用道路を決めておく。
- ・ 工事を急ぐあまり、軽微な工種は見直される事が必要と思われる。
- ・ 砂防施設の整備。
- ・ 災害などの避難場所には、もう少し明確に看板などの印が欲しいです。
- ・ 災害時の緊急時避難場所等の見直し、改定。
- ・ 災害対策用資材の確保。
- ・ 災害発生時には混乱が予想されるので、組織の編成をしっかりとするとともに、命令系統をはっきりさせ、シュミレーションを実施する。
- ・ 集中豪雨も発生する中で、早期の発注が望まれる。
- ・ 住宅地の区画整理による緊急車両等の通行道路網確保等々の安心安全の県づくり。
- ・ 水道管と下水道管の融着ポリに移行化。
- ・ 設問8-2は、広く継続的に行い、県土の災害防止に役立てるべきです。地元住民の細かい観察が有効活用されます。
- ・ 大型工事を分割発注して公共事業の本数を大幅に増やす。
- ・ 低い土地の浸水対策等。
- ・ 土石流災害を防止するために発生が予測される上流部に土砂の推積容量の多い治山ダムの設置と、予兆を感知し警報を発する設備を治山工事と併せて設置する対策が必要と考えます。
- ・ 土木事務所単位での、震災風水害の防火訓練を強化する。
- ・ 道路巾を広くつくる。
- ・ 年々減少して行く公共投資について歯止めをかけ、必要不可欠な事業については、スピードを持って事業化し、少しでも将来に希望と活力があり得る県土づくりを願いたい。
- ・ 避難時の混乱を避けるため、住民に対して決め事しておく。
- ・ 避難道路も含めて、数系統が必要。
- ・ 復旧でも復興でも、最後は人の手がどれだけ確保できるかと、作業に対する能力が地元にあるのかが強い県土づくりの第一歩となると考えております。ぜひ、協会全体で対応していただければ幸いです。よろしくお願い致します。
- ・ これからも安心して通ることのできる道路工事をして行くよう心掛けて以降と思います。
- ・ ライフラインの見直し。
- ・ 安全な道路整備等。
- ・ 既設構造物の耐震性のチェックを早急にすべき。
- ・ 群馬の地形を生かした水力、風力発電の開発。
- ・ 工事を同時に複数件発注する。
- ・ 砂防施設（砂防・地すべり・急傾斜）の整備。
- ・ 生活に直結した業種（建設、食品関連、医療）のネットワークづくり。
- ・ 建築基準法の見直し。
- ・ 指名条件で、取り扱ひの受注制限を設ける。
- ・ 施工会社から防災対策工事の計画を提案させる。
- ・ 護岸の強化。

